

ふぁみーゆナウ！

ふぁみーゆツダコマ(株)が設立されてから今年で8年目を迎え、現在 総勢16名（障がい者 10名）が働いています。

当初は、「障がいのある人たちにどんな仕事ができるのか」「品質を守った仕事ができるのだろうか」という不安もありました。

しかし、親会社の理解のもと、障がいのある社員の個性や持っている能力を發揮させ、更に成長していけるように、と作業方法や環境の改善に取り組む日々を積み重ねていくうちに、当初の不安は「工夫次第で出来る」に変わり、そして、ふぁみーゆの在り方も少しずつ変わってきました。

また、障がい者が身近にいることで、親会社社員の方たちの「障がい者」に対する意識も変わってきたように感じます。

「ふぁみーゆ = 障がい者が働く場所」という認識の枠を越えて、ふぁみーゆが教えてくれるもの、与えてくれるもの、そして現在のふぁみーゆでの取り組みなどを紹介します。

設立の目的

- ★ 北陸発の特例子会社を設立し、障害者雇用を進める
→法的要件を満たす（法定雇用率の達成）
- ★ 障がい者を積極的に雇用し、社会に貢献する
- ★ 社会的“あたりまえ”の実践とダイバシティ（多様性の強化）
- ★ 津田駒グループ内の業務請負を行うことで協力企業としてお互いの収益を図る

特例子会社とは…

企業が障がい者の雇用を促進する目的で作る会社のこと。企業には、法律で一定の割合に相当する人数以上の障がい者の雇用が定められており、これを『法定雇用率』という。

この『法定雇用率』の算定において、特例子会社の従業員も親会社に雇用されているものとみなして算入できるもの。

